

別府大学大学院紀要

第 1 号 (1999年)

創刊の辞

行脚俳人と近江商人・西川可昌 - 京の後背地としての八幡俳壇 - 田 中 道 雄

拡散する恋歌 浅 野 則 子

果樹栽培ウィラとアムフォラ瓦窯 馬 場 典 明

南ボルネオのイスラム改革運動 利 光 正 文

アウグスターレースとしての皇帝解放奴隷
- 関係碑文を手がかりに - 山 本 晴 樹

「どの一点でまじわるとも知れない線また線の迷路のなかへ」
- 「第一回シュルレアリスム絵画展」と
アンドレ・ブルトン、そしてパウル・クレー - 宮 下 誠

第 2 号 (2000年)

あゆひ抄の「重きを・軽きを」 佐 田 智 明

前漢代、内朝の血縁集団 好 並 隆 司

ドレッセル 型 アムフォラの消滅とイタリア果樹栽培 馬 場 典 明

L amour courtois chez Sôséki 井 上 富 江

「それどころか、私が見はじめる目に見えないものまである」
- 「第一回シュルレアリスム絵画展」と
アンドレ・ブルトン、そしてパウル・クレー - 宮 下 誠

〔研究ノート〕

パントミームスとアウグスターレース

- 2世紀末 3世紀初のイタリアを中心に -

山本晴樹

第3号(2001年)

葛藤型の娯楽説話

工藤 茂

前漢後半期の古制・故事をめぐる政治展開

好並 隆司

ローマ=ウィラ経済の展開と地中海流通

馬場 典明

Trois Iseuts dans les romans de Tristan

井上 富江

ドイツで出版された日本の妖怪の本(上)

安松 みゆき

- 編著者ツェツィーリエ・グラーフ=プファフと

「日本の妖怪の本 Japanisches Gespensterbuch」-

〔研究ノート〕

ローマ属州の都市ニームの外人、解放奴隷、アウグスターレース

山本晴樹

アイヌの器物靈魂観について

段上 達雄

第4号(2002年)

新朝の成立 - 王莽の登極過程 -

好並 隆司

ドイツで出版された日本の妖怪の本(下)

安松 みゆき

- 吉川観方著『絵画に見えたる妖怪』〔1925年〕との比較において -

CONTRIBUTION DE L'ÉPIGRAPHIE À L'HISTOIRE
D'UNE VILLE ROMAINE : L'EXEMPLE DE NARBONNE

Michel GAYRAUD

第 5 号 (2003年)

- 挽歌に託した自己 - 理願挽歌の求めたもの - 浅 野 則 子
- 1 世紀末・2 世紀初のイタリア=ウィラに於ける奴隷制と小作制
- プリーニウス(小)『書簡』の検討 - 馬 場 典 明
- 張家山漢簡の律文における「宦皇帝」について 好 並 隆 司
- Les personnages féminins influencé par
la littérature arthurienne chez Sôséki INOUE Tomié
- 展覧会を通してみる近代欧州の日本古美術に対する認識の変遷 安 松 みゆき
- 1910年「日英博覧会」と1939年「伯林日本古美術展覧会」の比較において -

第 6 号 (2004年)

- 透過する女性 - 万葉集における孝謙天皇 - 浅 野 則 子
- 楽戸をめぐって 好 並 隆 司
- JAPANESE ART AT THE 1909 EXHIBITION YASUMATSU Miyuki
OF FAR EASTERN ART IN MUNICH

第 7 号 (2005年)

- 集結する歌 - 家持と諸兄の歌の世界 - 浅 野 則 子
- 肥前国島原城修補許可の老中奉書について 白 峰 旬
- 島原市本光寺所蔵史料の史料調査より -
- 元老院属州ナルボネンシスにおける創設期の都市皇帝礼拝祭司をめぐって 山 本 晴 樹
- ナチス支配下における強制収容所の建築史の一試論 安 松 みゆき
- アウシュヴィッツ強制収容所を例に -

L image des arbres dans les lais et les romans au Moyen Age ()

INOUE Tomié

第 8 号 (2006 年)

村上春樹論 - 「海辺のカフカ」を中心にして

重岡 徹

天保 7 年の石見国浜田城引き渡しについて

白峰 旬

天保 7 年の陸奥国棚倉城受け取りについて

白峰 旬

1937年から1938年の間に日本で開催された日独交流展
- 美術作品と政治性をめぐる一考察 -

安松 みゆき

身体とメタファー

瀬戸口 昌也

- 解釈学的論理学 (hermeneutische Logik) と
認知意味論 (cognitive semantics) -

第 9 号 (2007 年)

La possibilité du songe ou le rêve dans la littérature médiévale en France

井上 富江

[] Liturgie et architecture

Françoise Robin

[] Les églises du Moyen Age en France:
principes et systèmes d'architecture. XIIe-XVe siècles.

[] Le décor de l'architecture : le rôle des images .

三河国吉田城の受け取り(宝永3年)と引き渡し(正徳2年)について

白峰 旬

ドイツ第三帝国における日独文化交流と日本美術
- 日独文化協会発行『日独文化』を資料にして

安松 みゆき

大学生の健康関連行動と健康教育

矢島 潤平, 田中 芳幸

【研究ノート】

文政 6 年の陸奥国白河城受け取りに関する史料紹介

白峰 旬

第10号（2008年）

- | | |
|--|----------------------------|
| 後漢期、皇太后・宦官の支配様式 | 好 並 隆 司 |
| 関ヶ原の戦いに関する再検討 | 白 峰 旬 |
| 古典期前期におけるカーン王朝の本拠地の所在についての一考察
- ツィバンチェの碑文の分析から - | 佐 藤 孝 裕 |
| 中世六郷山寺院の法会 1 | 段 上 達 雄 |
| ドイツ第三帝国下の日本美術史研究とユダヤ人研究者 | 安 松 みゆき |
| 教育学におけるレトリックの復権とは？
- レトリック的論証（Argumentation）による教育学の基礎づけについて - | 瀬戸口 昌 也 |
| 【研究ノート】 | |
| 『土芥寇讎記』における「居城」・「居所」表記に関する一考察 | 白 峰 旬 |
| 【講演記録】 | |
| モンペリエ第三大学教授 Josiane Mas 先生の講義紹介
Le Ballet, lieu privilégié de l'expression de la
modernité dans le Paris des années 1920 | 井 上 富 江

Josiane Mas |
| 【翻訳】 | |
| オスカー・グラーフ ツェツィーリエ・グラーフ・プファフ編著『日本の妖怪』
シュトゥットガルト、1925年 翻訳 | 安 松 みゆき |